

平成28年度 情報教育フォーラム報告書

平成28年度

# 情報モラル推進校 実践事例集

主体的な情報モラル教育について



## はじめに

スマートフォンやSNS等の使用のルールについては、子供たちが主体的に学び、その意義を理解することが必要です。

東京都教育委員会では、平成27年11月に「SNS東京ルール」を策定し、児童・生徒が、いじめ等のトラブルや犯罪に巻き込まれないようにするとともに、学習への悪影響を防ぐための取組を進めているところです。

これまで、都内公立学校では、「SNS学校ルール」の策定や「SNS家庭ルール」を作ることの啓発、そして「SNS東京ノート」を活用した情報モラル教育の推進に取り組んできました。

特にルール作りについては、児童・生徒が自分自身に当てはめて考えることを重視し、学校など大人が一方的に定めるのではなく、話し合いを通して自分たちが守ることができるルールを作るプロセスを大切にしています。

今後は、児童・生徒の実態に応じて、年間を通した計画的な取組として位置付けたり、ルールの見直しや重点化を図るなど、さらに取組を進めていく必要があります。これらの活動は、学校と家庭が連携し、工夫しながら取り組むことが一層大切となってきます。

東京都教育委員会は、情報モラル・情報リテラシー教育の充実を図るために、平成28年度「情報モラル推進校」20校を指定しました。

推進校は、情報モラル・情報リテラシー教育における先進的な研究を行い、公開授業による実践事例の発表に取り組んできました。また、昨年11月4日（金）、銀座ブロッサムにおいて、平成28年度情報教育フォーラムを開催し、都民の皆様にも公開したところです。

本報告書は、フォーラムにおける発表を含め、推進校における実践を取りまとめたものです。本報告書が、児童・生徒が自ら考える情報モラル教育のヒントとなることを期待しています。

平成29年3月  
東京都教育委員会



事例

## 1 異校種との連携の事例

- 高校生が小学校を訪問し、情報モラルを教える活動 ..... 6  
高校1年生全員が小学校3校に分散して訪問 高校1年「人間と社会」・小学校4年「総合的な学習の時間」等
- 高校生がコーディネーターとして小学生のルール作りを手伝う活動 ..... 7  
高校「課外活動」・小学校6年「総合的な学習の時間」
- 高校生が、DVD教材を見た後の小学生の話合いをサポートする活動 ..... 8  
高校「社会と情報」「情報の科学」受講者による合同授業・小学校5年「総合的な学習の時間」
- 中学生が小学生のルール作りを、複数回の交流を通して支援する活動 ..... 9
- 近隣小学生の「ネット利用についての相談カード」に、中学生が回答内容を考える活動 ..... 10  
中学校全学年「特別活動」
- 民間企業のゲーム形式の教材を用いて、高校生が小学生に情報モラルを教える活動 ..... 12  
高校「課外活動」 小学校「総合的な学習の時間」

事例

## 2 保護者との連携の事例

- 班の話合いに保護者が入り、ともに考える「情報モラル」 ..... 16  
小学校4年「総合的な学習の時間」
- 「生徒会・PTA合同スマホミーティング」によりルールについて考える活動 ..... 17  
高校「夏季休業期間中の活動」
- 夏休みの宿題「私の宣言書(家庭のeルール)」の作成 ..... 18  
小学校全学年
- 目標を「がんばりカード」に記入し、家庭で責任をもって取り組む活動 ..... 19  
小学校6年「特別活動」
- 保護者向けに情報モラルの講習会(全13回)を企画・実施 ..... 20  
特別支援学校

事例

### 3 主体的な情報モラル教育の事例

- 正しい情報発信について、意見を出し合い、考えを深める活動 ..... 22  
 小学校6年「総合的な学習の時間」
- 動画教材やICT機器を活用し、自分の考えを深め、「情報モラル」を身に付ける活動 ..... 23  
 小学校6年「総合的な学習の時間」
- 相手の気持ちや考えを大切にできる心情を育む活動 ..... 24  
 小学校 特別支援学級「道徳」
- カード型教材を用いて、違いに気づき、情報モラルを主体的に考える活動 ..... 25  
 中学校1・2年「道徳」
- 情報モラルについて学んだことを小学生に発表する活動 ..... 26  
 中学校2年 特別活動「情報モラル問題解決学習発表会」
- 全校一斉に、SNSルールについて考える活動 ..... 27  
 中学校全学年「特別活動」
- ワークシートを用いて、違いに気づき、情報モラルを主体的に考える活動 ..... 28  
 高校1年「情報と科学」
- 伝え合う活動を通して、SNSの適切な利用について考えを深める活動 ..... 30  
 高校3年「情報と科学」
- 二つの系列が協力して情報セキュリティの参考書を制作する活動 ..... 31  
 高校2年「(選択科目) 情報ビジネス・デザイン応用」
- ネット上の教材を用いて、ネットショッピングについて学ぶ活動 ..... 32  
 高校1年「家庭総合」
- カード型教材を用いながら、SNSとの正しい付き合い方について考える活動 ..... 33  
 特別支援学校 中学部1・3年「道徳」
- 動画教材等の事例を基に、スマートフォン等の使用のルールや約束について考える活動 ..... 34  
 特別支援学校 中学部2年「職業・家庭」



## 平成28年度 情報モラル推進校

### 小学校

文京区立湯島小学校  
世田谷区立東玉川小学校  
杉並区立天沼小学校  
八王子市立第五小学校  
小平市立小平第十四小学校

### 中学校

豊島区立千登世橋中学校  
足立区立加賀中学校  
江戸川区立南葛西中学校  
東村山市立東村山第五中学校  
国立市立国立第一中学校

### 高等学校

都立六本木高等学校  
都立墨田川高等学校  
都立町田高等学校  
都立野津田高等学校  
都立山崎高等学校  
都立町田工業高等学校  
都立東村山高等学校

### 特別支援学校

都立城南特別支援学校  
都立鹿本学園  
都立石神井特別支援学校

# 異校種との連携 の事例




# 高校生が小学校を訪問し、情報モラルを教える活動

高校1年生全員が小学校3校に分散して訪問 高校1年「人間と社会」・小学校4年「総合的な学習の時間」等

## 活動の概要

高校1年生8クラス全員が小学校3校に分散して訪問し、SNS東京ノートを使いながら授業をしました。班の話合いでは高校生が進行役を務め、小学生の意見を引き出しました。高校生が実際にどのようにSNS等を使っているのかを質問する小学生もいました。

## 本時の流れ

	学習内容・学習活動	活動の様子
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>● SNS等について一斉講義                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ SNSやゲームとの付き合い方に関する基本的な事項について</li> </ul> </li> </ul>	
展開1	<ul style="list-style-type: none"> <li>● SNSの適切な利用について (SNS東京ノートⅡの事例から)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>「インターネットへの書きこみ1」</li> <li>「友達との電子メール」</li> </ul> </li> <li>・ 高校生2名を交えた班で話し合う。</li> <li>・ 不適切なことやどうすべきであったかを、班ごとに発表し、考えを共有</li> </ul>	
展開2	<ul style="list-style-type: none"> <li>● SNSの適切な利用について (SNS東京ノートⅡの事例から)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>「うわさで聞いた話」</li> <li>「インターネットへの書きこみ2」</li> </ul> </li> <li>・ 正しい情報の見極め、ネットへの書き込みについて、話し合い、発表する。</li> </ul>	
まとめ	<p>本時の振り返り</p>	

## ■児童・生徒の変容

「小学生に教えることで、自分が学ぶ場面がたくさんあった」「自分の生活やSNSの使い方を振り返る機会になった」といった感想が多く見られた。



# 高校生がコーディネーターとして小学生のルール作りを手伝う活動

高校「課外活動」・小学校6年「総合的な学習の時間」

## 活動の概要

小学校におけるルール作りに、高校生がコーディネーターとして参加しました。班ごとの話し合いの過程を記録することや、発表内容を整えるために、高校から持ち込んだタブレットPCを活用しました。

## 本時の流れ

	学習内容・学習活動	活動の様子
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>● SNSの基本的知識と利点について</li> <li>・ 高校生による一斉講義</li> </ul>	
展開1	<ul style="list-style-type: none"> <li>● SNS等を利用する際の注意点について</li> <li>・ 高校生1名がコーディネーターとして班に入る。</li> <li>・ 高校生がスマートフォンを見せながら、SNS等を利用する際の注意点について説明し、問題を提起する。</li> </ul>	
展開2	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 小学校のSNS学校ルールを一緒に考える。</li> <li>・ ルールにした方が良くと思うことを挙げる。</li> <li>・ 高校生は意見をまとめ、発表用スライドを作成する。</li> </ul>	
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 班ごとに発表し、互いの考えを共有する。</li> <li>● 自分たちが守ることができる現実的なルールを作るよう小学生に伝える。</li> </ul>	

## ■児童・生徒の変容

(高校生) SNSや情報モラルについて小学生に話をする上で、知識が不足していると感じるとともに、小学生の知識が豊富であることに驚いていた。改めて、正しい知識をもつことの必要性を認識していた。

(小学生) 時間を定めずにネット等を使うことについて、話し合いの中で改めて良くないと認識するようになった。



# 高校生が、DVD教材を見た後の小学生の話し合いをサポートする活動

高校「社会と情報」「情報の科学」受講者による合同授業・小学校5年「総合的な学習の時間」

## 活動の概要

DVD教材を基に、SNSの適切な使い方について、高校生と小学生と一緒に話し合いました。それぞれの立場の理解を深めるため、授業の導入の際、双方のスマートフォンやSNSの使用実態について、アンケート結果を発表し合いました。

## 本時の流れ

	学習内容・学習活動	活動の様子
導入	<p>※事前に高校と小学校において、同じ内容のアンケートをとっておく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●アンケート結果の発表（小学校）</li> <li>●アンケート結果の発表（高校）</li> </ul> <p>※アンケート結果から、それぞれの利用状況の理解を深める。</p>	
展開1	<ul style="list-style-type: none"> <li>●DVD教材の視聴</li> </ul> <p>・人権学習教材DVD「わっかカフェへようこそ」から「三色団子の向こう側」を見る。</p> <p>※見るべきポイント「『こんなことをやってはいけない。』と思った場面を覚えておこう。」</p>	
展開2	<ul style="list-style-type: none"> <li>●主人公が、なぜ困ったことになったのか、この後どうすれば良いのかについて考える。</li> </ul> <p>・班ごとに入った高校生が話し合いを進行する。</p> <p>・ワークシートを用い、気付いたことを出し合い、共有する。</p> <p>・SNSを利用する上で気を付けることについて、班としての意見をまとめる。</p> <p>・班ごとに発表し、互いの考えを共有する。</p>	
まとめ	<p>本時の振り返りを行う。</p>	

## ■児童・生徒の変容

(高校生) 本時の活動をきっかけにして、モラルやセキュリティに関して、今まで以上に自分のこととして捉えるようになった。

(小学生) 知識を身に付けるだけでなく、実際の行動に結び付けようとする意識が高まった。家庭のルールを定める必要性を改めて確認し、家庭のルール作りにつながった。

# 中学生が小学生のルール作りを、複数回の交流を通して支援する活動

## 活動の概要

数週間かけて、小学生のルール作りには中学生が関わりました。当初のルール案を、中学生のアドバイスにより、改善することができました。また、分かりやすい発表を行うための工夫についても学ぶことができました。

## 本時の流れ

	学習内容・学習活動	活動の様子
1時	(中学生が小学校を訪問) ●中学校のSNS学校ルールを、ねらいとともに紹介する。	
2時	(小学生のみ) ●班ごとに話し合い、SNSルールを作る。	
3時	(小学生の代表が中学校を訪問) ・各班のルール案を、中学生に提示する。	
4時 導入	(中学生が小学校を訪問) ●本時のねらいを確認	
展開1	●ルールの内容をより良くする。 ・班ごとのルール案について、改良するポイントを中学生がアドバイスしながら話し合う。 (例 「時間を守る。」を「9時30分までとする。」など具体的に詰めていく。)	
展開2	●発表方法の検討 ・発表用のフリップを作成する。 ・改善したルール案を分かりやすく伝える工夫について、中学生がアドバイスする。	
まとめ	●本時のまとめ ・学習を振り返る。	
5時	(中学生が小学校を訪問) ●小学生が、各班で定めたルールを発表する。 ・中学生からの質問に、小学生が答える。	

## ■児童・生徒の変容

(中学生) 小学生にアドバイスをすることで自分自身の生活を振り返ることができ、先輩としての自覚ももつこともできた。  
(小学生) 守ることができる具体的なルールを作ることができ、自らの生活に生かすことができた。




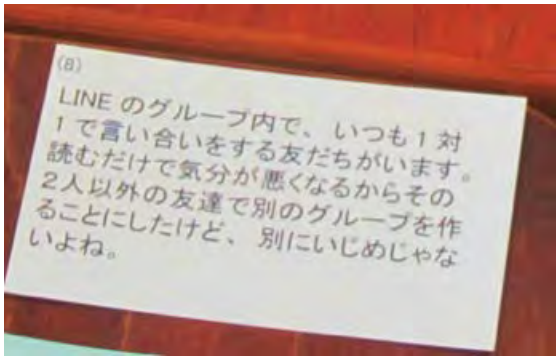
# 近隣小学生の「ネット利用についての相談カード」に、中学生が回答内容を考える活動

中学校全学年「特別活動」

## 活動の概要

中学生が、ゲストティーチャーによる講義でネット上のコミュニケーションについて基本的な事項を理解した上で、小学生からの相談カード（ネットについて困っていること）に対し、アドバイスをする立場となって回答を考えました。

## 本時の流れ

	学習内容・学習活動	活動の様子
事前	<ul style="list-style-type: none"> <li>※1 事前に、近隣の小学校に依頼し、ネット利用で困っていること等についてアンケートをとっておく。</li> <li>※2 事前に、自分たちのネットの利用状況についてアンケートをとっておく。</li> </ul>	
導入	<p>(ゲストティーチャーとのTTによる授業)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●本時のねらいを確認</li> <li>●クラスのネットの利用状況を確認</li> </ul>	
展開1	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ネット上のコミュニケーションについて、考えを深める。</li> <li>・ゲストティーチャーからの講義</li> </ul>	
展開2	<p style="text-align: center;">【課題】近所の小学生のために、よりよいネットの使い方を教えてあげよう！</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ネット上のコミュニケーションの在り方について考える。</li> <li>・小学生からの「相談カード」に、回答する内容を考える。</li> <li>・ロールプレイ形式で相談に対する回答を発表する。</li> <li>・ゲストティーチャーからの想定質問に答える。</li> </ul>	
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本時のまとめ</li> <li>・自身のネットとの付き合い方を振り返る。</li> </ul>	
事後	<ul style="list-style-type: none"> <li>●生徒代表者が小学校を訪問し、5、6年生全員に、朝の学活で、相談カードの回答を説明する。</li> <li>●小学生は、中学生の回答を参考に、ネットとの付き合い方を考える。</li> </ul>	

## ■児童・生徒の変容

- 近隣の小学生の生の声（相談カード）を活用したことで、相談内容を身近に感じ、学習活動に対する興味・関心を高めることができた。
- スマートフォン等の利用の仕方を振り返り、主体的に学習に取り組むことができた。
- 相談カードを基にしたグループワーク等により、多様な価値観や考え方に触れることができた。

## 【相談カードの例】

クラスのLINEグループに、A君が勝手に知らない人を追加しました。やめてと言ったけどどんどん招待しています。みんな困っているのに、A君をグループから外していいよね？

友達がLINEで悪口を送ってきた。やめてほしいけど「やめて」とメッセージを送ると嫌われるかもしれない。どうすれば良いかな？

友達と撮った動画をLINEのグループに送ったら、勝手に別のグループに送られた。これ以上、ほかの人には見てほしくないんだけど、どうしたらいいかな。

スマホに突然「ウイルスが見つかりました。この対策アプリをインストールしてください」というメッセージが出てきました。この対策アプリをインストールすべき？

LINEのグループ内で、いつも1対1で言い合いをする友達がいます。読むだけで気分が悪くなるからその二人以外の友達で別のグループを作ることにしたけど、別にいじめじゃないよね。

LINEのグループ内で、A君の発言にはみんなすぐに返事するのに、僕の発言にはあまり返事してくれません。既読スルーしている友達が多いけど、どうすれば返事してもらえるかな？

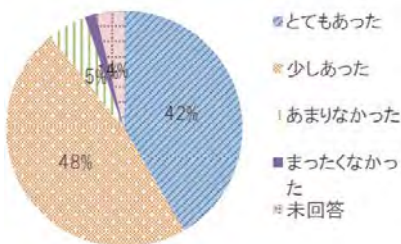
学校が終わってからいつも3時間ぐらいスマホをやっているんだ。親に「やりすぎ」って言われたけど、普通だよ？

近隣小学校3校に事前アンケートをとり、**生の声**を活用した。

学年の実態に合わせて、授業で取り上げるカードを選択した。

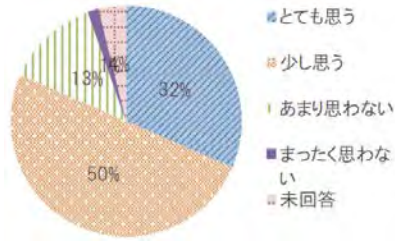
## 【授業後アンケートより】 (3年抽出)

グループの発表を聞いたことで、多様な考え方があることに気づきましたか？



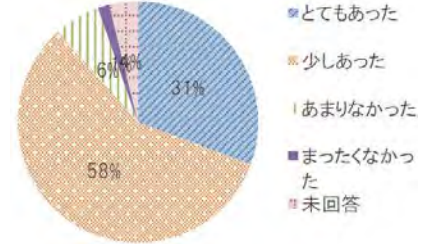
肯定的意見 **90%**

先生が生徒役になりロールプレイしたことでクラスでネットの話題がしやすくなりそうですか？



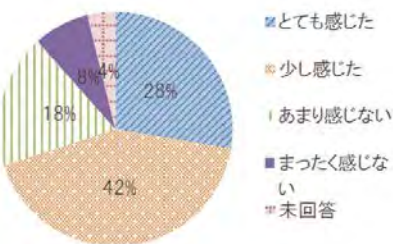
肯定的意見 **82%**

グループでの相談カードの話合いから気づいたことや学んだことはありましたか？



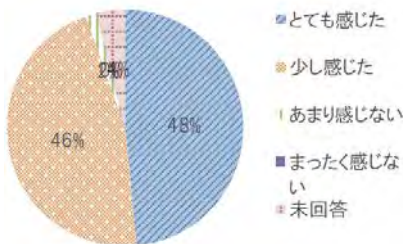
肯定的意見 **89%**

実際に近くの小学校からの相談内容だったことで、相談内容を身近に感じましたか？



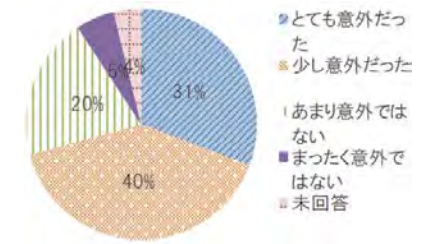
肯定的意見 **70%**

アンケート結果を見たことで授業の内容を自分たちのこととして感じることはできましたか？



肯定的意見 **94%**

授業に出てきた自分たちのアンケート結果は意外なものでしたか？



肯定的意見 **71%**

# 民間企業のゲーム形式の教材を用いて、高校生が小学生に情報モラルを教える活動

高校「課外活動」 小学校「総合的な学習の時間」

## 活動の概要

高校生が小学校を訪問し、民間企業の協力の下、ゲーム形式の情報モラル教材を用いて、授業を行いました。高校生が、教材に関連して自分の体験を交えてアドバイスすることで、小学生は、より深く学ぶことができました。

## 本時の流れ

	学習内容・学習活動	活動の様子
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>● SNSの基本的な知識を理解する。(高校生による講義)</li> <li>・ 具体的な例とともに学習する。</li> <li>・ 高校の学校ルールを紹介する。</li> </ul>	
展開1	<ul style="list-style-type: none"> <li>● SNSにおいて注意すべきことについて、具体例を基に考える。</li> <li>・ グリー株式会社の情報モラル啓発アプリ「魂の交渉屋とボクの物語 - Soul Negotiator -」の「9. 言葉の勘違い」を提示する。</li> <li>・ 児童の回答を基にストーリーを進める。</li> </ul>	
展開2	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 文字によるコミュニケーションにおける注意点について、考えを深める。</li> <li>・ ワークシートへ自身の考えを記入する。</li> <li>・ 高校生は班の話合いにアドバイスをする。</li> <li>・ 班ごとに発表する。</li> </ul>	
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 学習のまとめ</li> <li>・ 文字によるコミュニケーションのトラブルについて、自身の考えをまとめる。</li> <li>・ 学習を振り返る。</li> </ul>	

## ■児童・生徒の変容

(高校生) 小学生の意見を聞いて、自らの行動を振り返ることができた。学校ルールについて、肯定的に捉えるようになった。

(小学生) 高校生の体験がとても参考になった。文字によるコミュニケーションについて、上手に使っていきたく思った。

## ■授業で使用したワークシート（高校側が作成）

**「魂の交渉屋とボクの物語 - Soul Negotiator -」**

年 組 名前 \_\_\_\_\_

**アプリの結末**  
 ハッピーエンド / ノーマルエンド / バッドエンド

**1. 物語の内容を復習しよう。**

サクラはクラスチャットに言葉足らずな発言をしてエリコに勘違いされてしまいました。交渉屋は「サクラの代わりに誤解を解くなんて考えるなよ?」と言いました。そのとき主人公に対して、次の3つの選択肢が現れました。

(A) 勘違いしたエリコさんが悪い  
 (B) サクラさんが自分でフォローすると思うから見守る  
 (C) 相手がどう感じるか考えてチャットした方がよいとアドバイスする

(1) あなたは、どの選択肢を選びましたか?

( A )            ( B )            ( C )

(2) なぜ、その選択肢を選んだのですか? 選んだ理由を考えよう。

**2. 問題点を見つけ出そう。**

(1) チャットやメールまたは手紙のように、文字だけでコミュニケーションをとることの悪い点を、3つあげてみよう。

(2) チャットやメールまたは手紙のように、文字だけでコミュニケーションをとることの良い点を、3つあげてみよう。

**3. トラブルにならない方法を考えよう。**

チャットやメールまたは手紙で友達とやりとりするとき、トラブルを起こさないためには、どのようにすればよいでしょうか。対策方法を考えてみよう。

**4. 今日の学習を振り返ろう。**

今日の授業で学んだことを振り返り、今日の授業の感想を書こう。

君の書く文は、君の気持ちが正しく伝えられているか？  
勘違いされぬよう、直接話す努力も忘れぬようにな！

## ■児童の記入例

### 「文字によるコミュニケーションの悪い点」

- ・感情がうまく伝わらない。顔が見えない。
- ・文字の間違いがあると、ちょっとしたものでも、誤解されてしまう。
- ・消せない。取り消しがきかない。
- ・発音が伝わらない。

### 「文字によるコミュニケーションの良い点」

- ・学校で話せないことも書きこめる。言いづらいことも言える。
- ・画像なども見せられる。
- ・遠くにいても連絡できる。
- ・思い出に残せる。

### 「文字によるコミュニケーションにおいて、トラブルにならない方法」

- ・記号を入れて分かりやすくする。
- ・スタンプを使う。
- ・送る前に読み返す。
- ・間違いに気付いたら、すぐに間違いだと伝える。



# 子供のスマートフォンには、安全・安心のため 東京都教育委員会アプリを御活用ください

東京都教育委員会では、子供に、いじめの防止とSNSの適切な利用に役立つスマートフォン向けアプリを作りました。



## ココロ空模様チェック

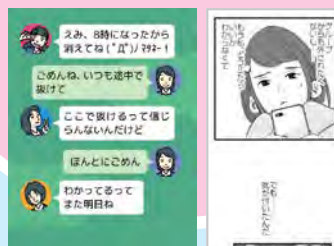
簡単なストレスチェック機能があります。  
いじめ相談ホットラインに  
すぐに電話をかけることができます。



## ココロストーリー

(いじめ相談・SNS)

いじめや、SNSについて考えさせる  
8つのストーリーをみることが出来るアプリです。  
ウェブサイトでは、アプリ版と同じ内容の  
マンガを閲覧できます。



### アプリを使った 御家庭での活用

↑家庭内で一緒に見て話し  
合ったり、子供だけを見た  
後、自分に問いかけをさせ  
たりすることができます。

### ウェブサイト版を 学校等でも活用

→ウェブサイトでも同じス  
トーリーを見ることができ  
ます。授業で一斉に見せて  
話し合ったり、個々に見せ  
て自分に問いかけをさせ  
たりすることができます。

iOS版と  
Android版が  
あるよ!



## SNSルールリマインダー

決めたルールを登録することができます。  
忘れた頃に通知が出て、  
ルールを思い出すことができます。



詳しくは、以下の東京都教育委員会  
ウェブサイトを御覧ください。

考えよう! いじめ・SNS@Tokyo  
<http://ijime.metro.tokyo.jp/>

考えよう いじめ SNS 検索



### ●お問合せ先

東京都教育庁指導部指導企画課  
電話 03-5320-6848



## 保護者との連携 の事例

# 班の話合いに保護者が入り、ともに考える「情報モラル」

小学校4年「総合的な学習の時間」

**本時の目標**

SNSやゲームに関する時間のルールについて、一つの班に大人が2名ずつ入り、話し合いをしました。子供が気付かないことを大人が指摘するなど、幅広い視点で話し合いを行うことができました。

**本時の流れ**

	学習内容・学習活動	活動の様子
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本時の流れを確認する。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者が各班に入る。</li> </ul> </li> </ul>	※児童の意見（例） <ul style="list-style-type: none"> <li>・夜遅くまでやらない。</li> <li>・しかられたらやめる。</li> </ul> ※保護者の意見（例） <ul style="list-style-type: none"> <li>・1日30分と時間を決めてやる。</li> <li>・曜日を決めて、やらない日を作る。</li> </ul>
展開1	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ゲーム等を長時間利用することの問題を考える。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・SNS東京ノートⅡの事例を参考にする。</li> <li>・個人で考え、班内で発表し、全体で共有する。</li> </ul> </li> <li>●「使い過ぎ」を改善するためのルールを考える。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の意見<sup>*</sup>と、保護者の意見<sup>*</sup>を取り上げ、考えの違いに気付く。</li> </ul> </li> </ul>	
展開2	<ul style="list-style-type: none"> <li>●具体的な時間のルールについて、考えを深める。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「休日にゲームをしていい時間」について、各自の意見を出し合う。</li> <li>・LINE株式会社のカード教材「使いすぎ編」を用いる。</li> <li>・大人や友人との意識の違いに気付く。</li> </ul> </li> <li>●自らの「使い過ぎ」の問題を解決する方法を考える。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・SNS学校ルールを参考にして、自身が守ることのできるルールを考案する。</li> <li>・考えたルールを発表し、共有する。</li> </ul> </li> </ul>	
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本時で学んだことを、家庭のルール作りに生かす意識をもつ。</li> </ul>	

LINE株式会社の教材 小学生用に改善したカード

**児童・生徒の変容**

児童は保護者とともルールを決めることの大切さを感じた。さらに保護者とともSNSルールを考えたことで具体的なルールを作成することができた。

# 「生徒会・PTA 合同スマホミーティング」によりルールについて考える活動

高校「夏季休業期間中の活動」

**本時の目標**

生徒会と保護者が、高校生のSNSの利用について意見交換を行いました。学校や家庭のルール作りについてともに話し合うことで、ルールの意義について理解し、自らの行動につなげることができました。

**本時の流れ**

	学習内容・学習活動	活動の様子
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>●情報モラルの講師を招へいし、動画を視聴し、講演を聞く。</li> <li>・SNS 家庭ルールを講演テーマとする。</li> <li>・生徒会の生徒と、保護者が参加</li> </ul>	
展開 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>●SNS 学校ルール (案) をより良くすることを提案する。</li> <li>・後日「ルール検討会議」を開いて詳細を検討</li> </ul>	
展開 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>●スマートフォンやSNSの利用状況について意見を交換する。</li> <li>・高校生の利用実態</li> <li>・保護者が考えるSNSの危険性について</li> <li>●SNS 家庭ルールの在り方について、検討する。</li> </ul>	
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本時に出た意見を、今後、SNS 学校ルールづくりに生かしていく。</li> </ul>	

**■児童・生徒の変容**

- ルールが、SNSを安全に安心して楽しく使用するためのものであるという意識が生まれ、後日、生徒が主体となったルール作りを行うことができた。
- 家庭でのルール作りへの抵抗感が和らいだ。

# 夏休みの宿題「私の宣言書（家庭のeルール）」の作成

小学校全学年

宿題の  
ねらい

夏休みの宿題として家庭のルールを作り、「私の宣言書」にまとめました。9月以降保護者とともにルールを守る活動をすることで、自身の生活を振り返る機会とすることができました。

かてい  
家庭のe ルール

わたし せんげんしょ  
私の宣言書

かてい ほな あ き け まも  
家庭で話し合って決めた「 ..... 家のeルール」を守ります。


もし、やくそく まも  
もし、約束を守れなかったら、


せんげん ひと じどうめい  
宣言する人(児童名) \_\_\_\_\_

かくにん ひと ほごしめい  
確認する人(保護者名) \_\_\_\_\_

9月1日～16日はeルール推進月間です。1週間の生活を振り返り、よりよくしていきましょう。

振り返る日	ルールを守れたかな？ 1つだけ色をぬりましょう。	その理由
9月9日(金)	◎ ○ △	
9月16日(金)	◎ ○ △	

家庭から  
(9月16日)

夏休み中に記入

9月の「情報モラル推進週間」で評価

保護者と相談して決める。

自分で決める。

自己評価し、改善する。

保護者に評価してもらう。

## ■児童・生徒の変容

- 守ることができると思っていたルールを守れないことがあり、生活を見直すようになった。
- 自分で時間をしっかり管理することが大切であることに気付いた。
- 許可を得てネットを使うことについて、確認をしっかり取らなかったことがあったので、家族としっかりコミュニケーションを取ることが大切だと考えるようになった。

# 目標を「がんばりカード」に記入し、家庭で責任をもって取り組む活動

小学校6年「特別活動」

**本時の目標**

授業中に、自分の目標を立てて、「がんばりカード」に記入しました。その後、7日間、保護者の協力を得ながら、家庭でルールを守ることができるように過ごしました。

**本時の流れ**

	学習内容・学習活動	活動の様子
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>● SNS 学校ルールを確認し、自らの問題として捉える。</li> </ul>	
展開 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>● SNS 等の使用実態を基に、「使い過ぎ」「マナー」について、意見を出し合う。</li> <li>・ テーブルシートや付箋紙を用いて、思考の可視化を図る。</li> <li>● 他のグループと状況を共有する。</li> </ul>	
展開 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自分の目標を考え、ワークシートに記入する。</li> <li>・ 展開 1 の他の人の意見を参考にしながら、自身の目標を責任をもって定める。</li> <li>・ 「いつ」「どのように」等、目標は具体的に記す。</li> </ul>	
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自分の努力することについて発表し合う。</li> </ul>	
事後の活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 帰りの会などを利用して、友達同士で取組を確認し合う場を設け、実践の継続化を図るようにする。</li> </ul>	

「がんばりカード」(再現したもの)

**■児童・生徒の変容**

- 家庭において SNS に関わる時間が減った。
- 1/3 の児童は、家庭ルールを作っていなかったが、授業後は全員家庭ルールを作成した。



# 保護者向けに情報モラルの講習会 (全13回) を企画・実施

特別支援学校

## 本時の目標

特別支援学校の児童・生徒に情報モラルの力を付けるためには、保護者の協力が大切です。そこで、教師が保護者向けに情報モラルに関する講習会を実施しました。

プール登校日の時間に開催することで、保護者が参加しやすいように工夫しました。

## 本時 (13回中第1回) の流れ

	学習内容・学習活動	活動の様子
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本時の内容の紹介</li> </ul>	
展開1	<ul style="list-style-type: none"> <li>●インターネットを利用する際に注意すべきことについて               <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報の漏えい</li> <li>・不適切なサイトへのアクセス</li> <li>・不適切なアプリのインストール</li> <li>・ゲーム等への課金</li> <li>・生活リズムの乱れ等</li> </ul> </li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●タブレット端末の機能について               <ul style="list-style-type: none"> <li>・機能制限の活用について (カメラ、アプリのインストールの停止、アプリからの課金の停止の方法)</li> </ul> </li> </ul>	
展開2	<ul style="list-style-type: none"> <li>●タブレット端末の「アクセスガイド」について               <ul style="list-style-type: none"> <li>・アプリごとの機能制限</li> <li>・使用時間の制限 等</li> </ul> </li> <li>●ブラウザの説明               <ul style="list-style-type: none"> <li>・アクセス先を制限できるブラウザについて</li> </ul> </li> </ul>	
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●説明したことのまとめ</li> </ul>	

## ■講習会の成果

- 全13回を実施し、延べ60人以上の保護者が参加した。
- 今回の講習会により、保護者のニーズが明確になったため、今後も定期的にも実施し、児童・生徒の情報モラルの向上につなげる。

# 主体的な情報モラル教育 の事例


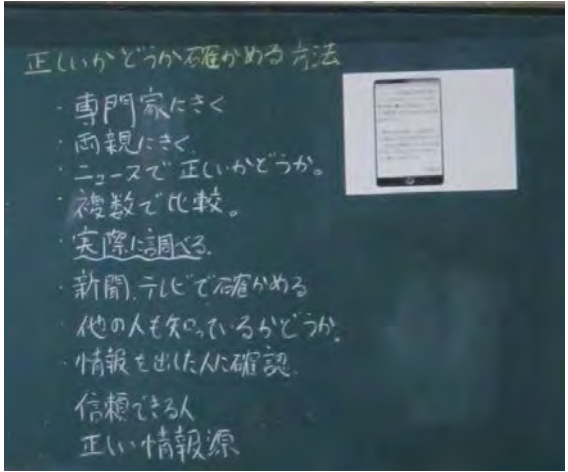
# 正しい情報発信について、意見を出し合い、考えを深める活動

小学校6年「総合的な学習の時間」

**本時の目標**

- ・正しい情報を得る手段を考え、理解することができる。
- ・その後の展開を予測して自分の行動を決めることの大切さを理解する。

**本時の流れ**

	学習内容・学習活動	活動の様子
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本時の課題を知る。</li> </ul> <p>信ぴょう性が低いうわさ話を聞いたときの行動を考えよう。</p>	
展開1	<ul style="list-style-type: none"> <li>●デマなど、信ぴょう性が不明な情報の危険性について考える。</li> <li>・「うわさで聞いた話」(SNS東京ノート II P11～P12)を読み、問題点を話し合う。</li> <li>●人から聞いた話や、インターネットに書かれている情報の真偽を確かめる方法について、意見を出し、共有する。</li> </ul>	
展開2	<ul style="list-style-type: none"> <li>●自分に信ぴょう性のないメールが届いた場合、どのような行動をとるかを考える。</li> <li>・自らの問題として捉え、意見をまとめる。</li> <li>・他の意見を聞き、自身の行動を振り返る。</li> </ul>	
まとめ	<p style="text-align: center;"><b>児童が学ぶこと</b></p> <p>正しい情報を得るために、信頼できる複数の情報源にあたるのが大切である。</p> <p>メール等で一気に情報を拡散すると、取り返しがつかないことが起きる可能性があることに気付く。</p>	

**児童・生徒の変容**

- ・信ぴょう性のない情報であっても、情報が拡散することで、社会的な問題になることが分かった。
- ・メール等を用いることで、たくさんの人に影響を与えてしまうことが分かった。





# 動画教材やICT機器を活用し、自分の考えを深め、「情報モラル」を身に付ける活動

小学校6年「総合的な学習の時間」

**本時の目標**

- ・ SNSを利用するときのマナーやルールを知り、適切な行動がとれるようにする。
- ・ 動画を見て、SNSでのトラブルをイメージし、課題解決に役立てることができる。

**本時の流れ**

	学習内容・学習活動	活動の様子
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「SNS」とはどのようなものかを知る。</li> </ul>	
展開1	<ul style="list-style-type: none"> <li>● トラブル事例を視聴し、問題点を考える。</li> <li>・ (スズキ教育ソフト)「あんしん・あんぜん情報モラル オンライン」を視聴する。</li> <li>・ 一人1台のICT機器を活用し、感じたことを、短時間で入力する。</li> <li>● トラブルへの対応の仕方について、話し合いを通じて考えを深める。</li> <li>・ 自分の考えをワークシートに記入し、グループで話し合う。</li> <li>・ プレゼンテーション用アプリ「ロイロノート」を活用して意見を共有する。</li> </ul>	
展開2	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 別の事例を視聴し、問題点と対応の仕方を考える。(展開1と同様)</li> </ul>	
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 教材の「まとめ」を視聴し、SNSを利用するときのルールや正しい知識について考えを深める。</li> </ul>	

**児童・生徒の変容**

- ・ 様々なトラブル事例と対応の仕方を考えることにより、SNSの適切な使い方を、各自が意識するようになった。
- ・ 実際に自身が経験したトラブルや嫌なことを発表し合い、身近な問題として考えることができた。



# 相手の気持ちや考えを大切にすることを育む活動

小学校 特別支援学級「道徳」

**本時の目標**

- ・人の物を借りるときの約束を考えることを通し、許可をとってから借りようとする態度を養う。
- ・他人が作ったものや考えを大切にしようとする心情を養う。

**本時の流れ**

	学習内容・学習活動	活動の様子
1次	<p><b>導入</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●使いたい道具がなかった時のことを想起し発表する。</li> </ul>	
	<p><b>展開1</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●映像教材を途中まで視聴する。</li> <li>・ハルト君が絵を描いているとき、友達の青色のクレヨンを使い切ってしまう内容</li> <li>・ハルトくんが怒られた理由と、どうしたらよかったかを考える。</li> <li>●実際に「貸して」と言って、クレヨンを借りる体験をする。</li> </ul>	
	<p><b>展開2</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●サインペンや色鉛筆など、必要なものが無かった時を想定し、どうすべきかを考える。</li> </ul>	
	<p><b>まとめ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●「人の物をかりるときのやくそく」について分かったことを発表する。</li> </ul>	
2次	<p><b>導入</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●本時のめあてを知る。</li> </ul>	
	<p><b>展開1</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●開校145周年のオリジナルキャラクターを描き、発表する。</li> <li>●教師の作品（既存のアニメを無断でまねたもの）を見て、著作権の観点から適切であるか否かを考える。</li> </ul>	
	<p><b>展開2</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●自分の作品がまねをされたらどんな気持ちになるか考える。</li> <li>●アニメの作者の思いについて知る。</li> </ul>	
	<p><b>まとめ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●他人の作品を大切にすることについて確認する。</li> </ul>	

**児童・生徒の変容**

- ・日常生活の中で、人の物と自分の物との違いを意識したり、相手に許可を求めてから物を借りたりする姿が見られるようになった。
- ・自身のオリジナル作品への愛着を一層感じるようになった。


# カード型教材を用いて、違いに気付き、情報モラルを主体的に考える活動

中学校1・2年「道徳」

**本時の目標**

- ・自分の気持ちを正しく伝えるために、気を付けなければいけないことを考える。
- ・話し合う中で、人による感じ方の違いを実感する。

**本時の流れ**

	学習内容・学習活動	活動の様子
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>●文字情報だけのコミュニケーションで起きるトラブルについて課題を把握する。</li> <li>・『SNS東京ノート1』『友達との会話』を読む。</li> <li>・「なんでくるの。」という一つの言葉をどう捉えたか確認する。</li> </ul>	
展開1	<ul style="list-style-type: none"> <li>●カード型教材を用いて、誤解しやすい状況について把握し、自らの行動を考える。</li> <li>・LINE株式会社の「言われると嫌だと感じる言葉のカード」を使い、友人と比較し、互いの考えを話し合う。</li> <li>・文字だけのコミュニケーションは、感情が伝わらず、誤解しやすいことを理解する。</li> </ul>	
展開2	<ul style="list-style-type: none"> <li>●カード型教材を用いて、誤解しやすい状況について把握し、自らの行動を考える。</li> <li>・「SNS上でされると嫌だと感じる行為のカード」を使い、友人と比較し、互いの考えを話し合う。</li> <li>・様々な感じ方があることに気付く。</li> </ul>	
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●互いに気持ちよくコミュニケーションをとるため、何に気を付けていけば良いのかを考える。</li> </ul>	



**生徒の感想から**

- ・今日学んだことは、「相手の気持ち」を考えることです。これは、インターネットだけの問題ではなく、人と話している時なども重要だと思いました。
- ・自分は、スタンプや絵文字などを使えば、自分の気持ちが伝わりやすいと思っていましたが、友達の意見を聞いて、反対に、嫌だと思ふ人もいました。
- ・みんなで話し合って、「こういうとらえ方をする人がいるんだ」と驚くことが多かったです。自分が嫌なことも相手は悪いと思っていないこともあるんだと思ったので、今後はそのようなことを考えて心を広くしていきます。

# 情報モラルについて学んだことを小学生に発表する活動

中学校2年 特別活動「情報モラル問題解決学習発表会」

## 本時の目標

- ・情報モラルの課題とその解決策をまとめ、小学生に分かりやすく伝えることを通して情報モラルについての意識を一層高める。
- ・小学生の中学校進学に対する不安感を軽減するとともに、中学生が上級生であることを自覚することで自尊感情を高める。

## 本時の流れ

	学習内容・学習活動	活動の様子
前時まで	<p>●各クラスで同一テーマによる発表を作成し、相互評価によりクラス代表を決める。</p> <p>代表班の発表テーマ</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 ネット犯罪（トラブル・被害系） 被害規模、出会い系サイト、ウィルスなど</li> <li>2 ネット依存について コンテンツ依存、つながり依存、依存の症状</li> <li>3 ネット犯罪（違法・加害系） 違法ダウンロード、著作権侵害</li> <li>4 個人情報の流出について 画像投稿、ネットオークションの利用</li> </ol>	
導入	<p>●小学校の四つのクラスにおいて、中学生の代表生徒が入る。</p>	
展開	<p>●中学生代表班による発表を行う。</p> <p>・中学生は発表後に、別のクラスに移動し、小学生は四つの発表を聞く。</p>	
まとめ	<p>●中学生の代表生徒がまとめを行う。</p> <p>●お礼の言葉を伝える。</p>	

## ■児童・生徒の変容

調べる活動や発表に向けた準備を通じ、インターネット及びSNSとの適切な向き合い方について深く理解し、ネットトラブル対策を自分のこととして捉える生徒が増えた。





# 全校一斉に、SNSルールについて考える活動

中学校全学年「特別活動」

本時の  
目標

情報社会での責任ある行動の必要性を知り、ルールやマナーについて考える。

## 本時の流れ

	学習内容・学習活動	活動の様子
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>●中学生のスマートフォンの使用実態及びルールやマナーに関する自治体の取組を知る。</li> <li>・SNS東京ノートⅢ（P3）を読む。</li> <li>・昨年度、自治体が策定した「インターネット等の利用に関する共通ルール」を知る。</li> </ul>	
展開1	<ul style="list-style-type: none"> <li>●SNSへの「不適切な書き込み」について考える。</li> <li>・SNS東京ノートⅢの事例（P9）を読む。</li> <li>・ワークシートに自分の考えを書き込み、発表する。</li> <li>・友達の意見を聞くことにより自分自身の考えを広げる。</li> <li>※インターネットにおけるコミュニケーションの特性を知る（SNS東京ノートP17）。</li> <li>●SNSでの「個人に対する攻撃」について考える。</li> <li>・SNS東京ノートⅢ（P11）を読む。</li> </ul>	
展開2	<ul style="list-style-type: none"> <li>●SNS学校ルールを考える。</li> <li>・インターネット上のコミュニケーションで気を付けることについて、班で話し合い、まとめる。</li> <li>・1クラス1～2程度のSNSルール案を生徒会に提出する。</li> </ul>	
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●SNSについて家庭でもルールやマナーを考える必要があることについて知る。</li> </ul>	

## 生徒の変容

ルールについて具体的に考えようとしている姿から、自分のこととして捉えようとする生徒が増えた。

# ワークシートを用いて、違いに気づき、情報モラルを主体的に考える活動

高校1年「情報と科学」

**本時の目標**

情報モラルやルールなどの関連性について理解を深めるとともに、コミュニティやネットワークにおける人間関係について考察する。

**本時の流れ**

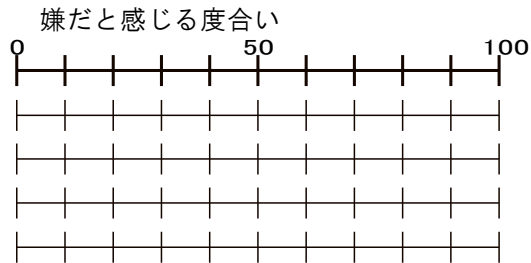
	学習内容・学習活動	活動の様子
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ワークシートの内容とグループワークの進め方について理解する。</li> </ul> <p>※LINE株式会社のカード型教材を、高校生向けに改変したワークシートを使用。嫌だと感じる度合いをグラフにより表現する（次ページに掲載）。</p>	
展開1	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ワークシートの質問に自分の回答を記入する。</li> <li>●グループ内で、互いの記入内容を発表し、各自の価値観の違いを確認する。</li> <li>・気付いたことをまとめ、発表の準備をする。</li> </ul>	
展開2	<ul style="list-style-type: none"> <li>●グループを組み替え、元のグループのまとめを持ち寄り、相互に情報交換する。</li> <li>・他のグループの意見を基に、感じ方の違いについて自分の考えを述べる。</li> <li>・どのような場面でトラブルが起こり得るかグループごとに考えをまとめる。</li> </ul>	
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●グループごとに発表し、共有する。</li> </ul>	

**■生徒の感想から**

- ・価値観の違いから、自分が気にしないような行為でもいやな思いをさせることがあることに気付いた。
- ・SNSでは他者への気遣いが大切だと思った。

# 情報モラルとマナー ワークシート

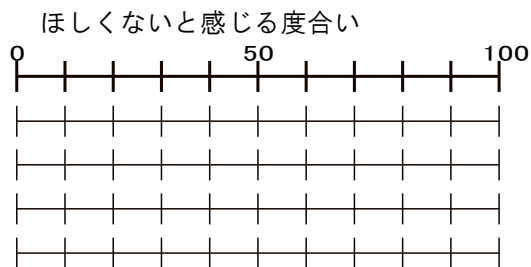
## 質問 1 されたら嫌だと感じること



- 1 すぐに返信がない
- 2 なかなか会話が終わらない
- 3 知らないところで自分の話題が出ている
- 4 話をしているときにケータイ・スマホをさわっている
- 5 自分が一緒に写っている写真を公開される

上記のほかに「自分と他の人の感覚が違う」と思う事例

## 質問 2 撮ってほしくない写真



- 1 自分の寝顔
- 2 自分の変顔
- 3 自分の部屋
- 4 自分の運動中
- 5 自分の食事中

上記のほかに「自分と他の人の感覚が違う」と思う事例

## 質問 3 うれしくないほめ言葉



- 1 まじめだね
- 2 おとなしいね
- 3 一生懸命だね
- 4 個性的だね
- 5 マイペースだね

上記のほかに「自分と他の人の感覚が違う」と思う事例

# 伝え合う活動を通して、SNSの適切な利用について考えを深める活動

高校3年「情報と科学」

**本時の目標**

情報化の進展により私たちの生活が豊かになる一方、様々な問題が生じていることを理解させる。SNSを題材として取り上げ、犯罪に巻き込まれず情報技術を適切に活用する方法を身に付けさせる。

**本時の流れ**

学習内容・学習活動

活動の様子

導入

- 情報化の進展による恩恵と、様々な問題があることを考える。



展開1

**【エキスパート活動】**

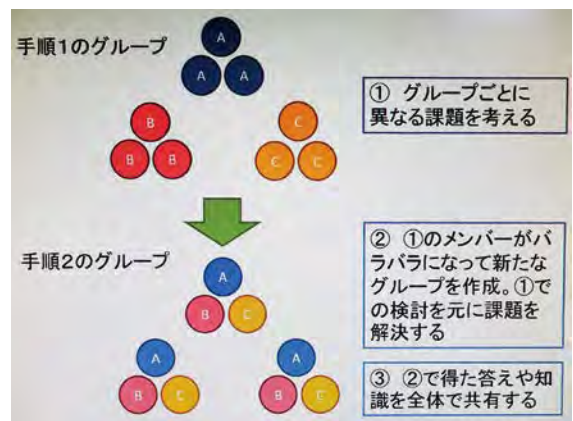
- ①3人程度のグループに分かれる。
- ②次の三つの課題のうち、一つを選ぶ。
  - (A) SNSを悪用した犯罪にはどのようなものが多いか。
  - (B) SNSには、より多くの人に情報を伝える仕組みがある。どのような機能があるか。
  - (C) SNS利用低年齢化の現状はどのようにしているか。また、低年齢化している原因は何か。
- ③課題について、事例を調べてまとめる。
- ④話し合いを行い、意見を比較・検討し、グループ内で考察した結論をまとめる。



展開2

**【ジグソー活動】**

- ①エキスパートグループを解体し、別のグループに分かれる。
- ②元のグループで考察した結論を報告する。
- ③報告を基に、「SNSを悪用した犯罪に巻き込まれないようにするにはどうすればよいか」、意見を出し合う。
- ④課題を解決するための具体的な解決策をまとめる。



まとめ

- ①ジグソー活動のグループから代表者を選び、解決策を提案（発表）する。
- ②共通する要素に気付かせ、これからの自らの行動について考えさせる。

**児童・生徒の変容**

SNSに関する様々な問題が存在することを理解し、意見交換を通してSNSを適切に扱う方法について理解を深め、新たな知見を得ることができた。



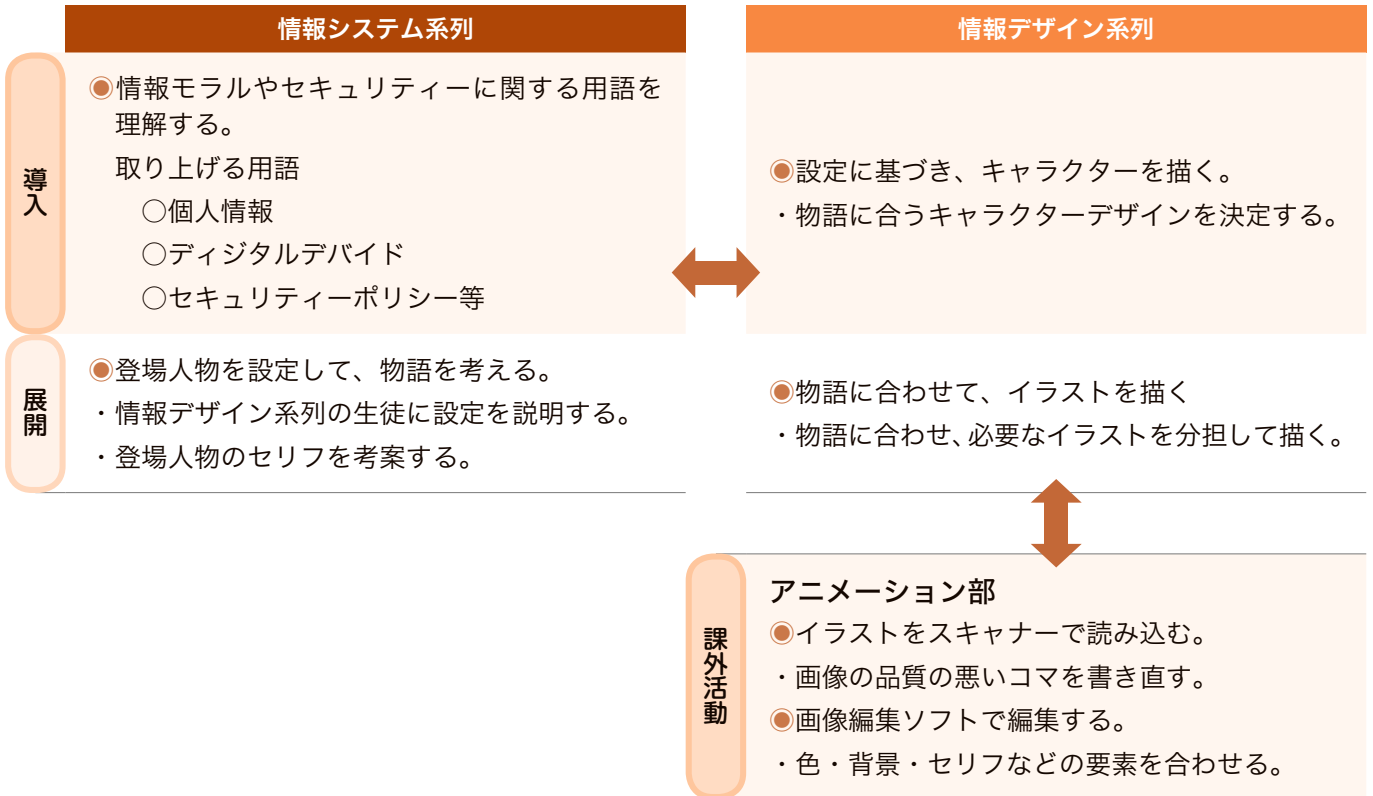
# 二つの系列が協力して情報セキュリティの参考書を制作する活動

高校2年「(選択科目) 情報ビジネス・デザイン応用」

**本時の目標**

- ・ 状況を設定して物語を考える。
- ・ 設定した物語に合わせてイラストを考える。
- ・ 分業して作成することを通して、自らの意図を相手に正しく伝える。

**本活動の流れ**



**児童・生徒の変容**

系列を越えて協同することを通して、その難しさや大切さを体験し、就職後のイメージをもつことができた。

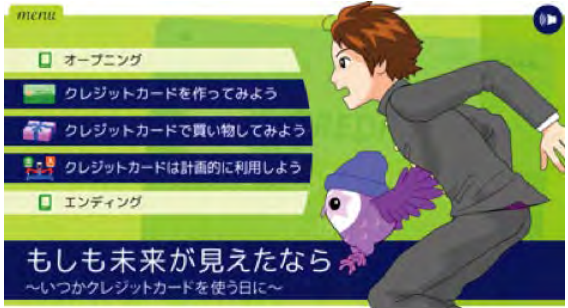

# ネット上の教材を用いて、ネットショッピングについて学ぶ活動

高校1年「家庭総合」

**本時の目標**

- ・家庭経済の領域の消費者教育の学習として、ネットショッピングとクレジットカードの使い方について学ぶ。
- ・タブレットPCを活用して、消費者ウェブ読本のネットショッピングのシミュレーションをする。

**本時の流れ**

	学習内容・学習活動	活動の様子
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 情報社会におけるネットショッピングについて、注意すべき点を考える。</li> <li>・ ウェブ読本を活用するため、タブレットPCを使用する。</li> </ul>	
展開1	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 契約、クレジットカードの仕組みなどの基礎知識を身に付ける。</li> <li>● クレジットカードによるネットショッピングを疑似体験する。</li> <li>・ 東京都消費生活総合センター 消費者教育教材 消費者ウェブ読本「もしも未来が見えたなら」を活用する。</li> </ul>	
展開2	<ul style="list-style-type: none"> <li>● クレジットカードの支払方法や利用時の注意点を学び、実践する力を身に付ける。</li> <li>・ 展開1の教材を活用する。</li> <li>● 個人情報が出してしまった場合の影響の大きさと対応を学ぶ。</li> </ul>	
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>● クレジットカードを使用する上での注意点を振り返る。</li> </ul>	

**■生徒の変容**

- ・ 実際にPCの画面を見ながら、ネット上での買い物のシミュレーションを体験することができた。
- ・ 二人一組で取り組んだため、学び合いが活性化された。
- ・ 将来、クレジットカードについて、十分に注意しながら使おうとする態度が身に付いた。



# カード型教材を用いながら、SNSとの正しい付き合い方について考える活動

特別支援学校 中学部1・3年「道徳」

## 本時の目標

- ・ 個人情報にはどのようなものがあるか理解する。
- ・ SNSに写真などをのせるときに気をつけることを学ぶ。

## 本時の流れ

	学習内容・学習活動	活動の様子
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 一日の情報機器の使用時間を質問し、興味をもたせる。</li> <li>● どれくらい使うと使いすぎだと感じるか質問し、回答を発表する。</li> <li>・ LINE 株式会社のカード型教材「つかいすぎ編」を活用する。</li> </ul>	
展開1	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ネットに掲載しているいい写真について考える。</li> <li>・ カード型教材「写真編B」を活用する。</li> </ul>	
展開2	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 個人情報の掲載について留意点を考える。</li> <li>・ SNS東京ノートⅢを活用する。</li> <li>・ どのようなものが個人情報に当たるか考える。</li> <li>・ 展開1で活用したカード型教材を大型モニターに映し、写真に隠された個人情報を確認する。</li> </ul>	
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 個人情報をSNSに掲載しないためにはどのようなことに気をつけたらよいか、考えをまとめる。</li> <li>・ SNS東京ノートⅢに書き込む。</li> </ul>	

## ■児童・生徒の変容

前時までにSNS東京ノートⅢを活用して個人情報について話し合っていたが、カード型教材により、新たなポイントを確認することができた。また、予想していなかった意見も生徒から引き出すことができ、個人情報について考える良い機会になった。

# 動画教材等の事例を基に、スマートフォン等の使用のルールや約束について考える活動

特別支援学校 中学部2年「職業・家庭」

## 本時の目標

- ・スマートフォンやインターネットの利用に関して、「1 公共の場での使用のルール」「2 長時間使用」「3 写真の撮り方」の三つについて、「ルール・約束」として理解を深める。
- ・「スマホ・ケータイ安全教室 特別支援学校編（株式会社NTTドコモ）」の開催について知り、内容への見通しをもつ。

## 本時の流れ

	学習内容・学習活動	活動の様子
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本時の目標の把握</li> <li>・本時の学習の見通しとイメージをもち、課題の解決に向けた意欲を高める。</li> </ul>	
展開1	<ul style="list-style-type: none"> <li>●スマートフォン・携帯電話について、守るべき事項を確認する。</li> <li>・スライドを提示し、基本的事項について学習する。</li> <li>●事例から、ルールや約束ごとについて気付いたことを発言し、共有する。</li> <li>・「歩きスマホ」について</li> <li>・SNS東京ノートの事例について</li> <li>・「NHK for school」の「スマホ・リアル・ストーリー」の動画「送った写真のゆくえは…」について</li> </ul>	
展開2	<ul style="list-style-type: none"> <li>●次時に行う、「スマホ・ケータイ安全教室 特別支援学校編（株式会社NTTドコモ）」について知り、内容への見通しをもつ。</li> </ul>	
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本時のまとめ</li> <li>・スマートフォン・携帯電話を使用する際のルールについて、確認する。</li> </ul>	

## 児童・生徒の変容

スライドや動画による視覚支援を効果的に活用することで、内容についての理解が深まり、スマホやタブレットの基本的な活用の仕方を覚え、「ルール・約束」を意識しようとする様子が見られた。



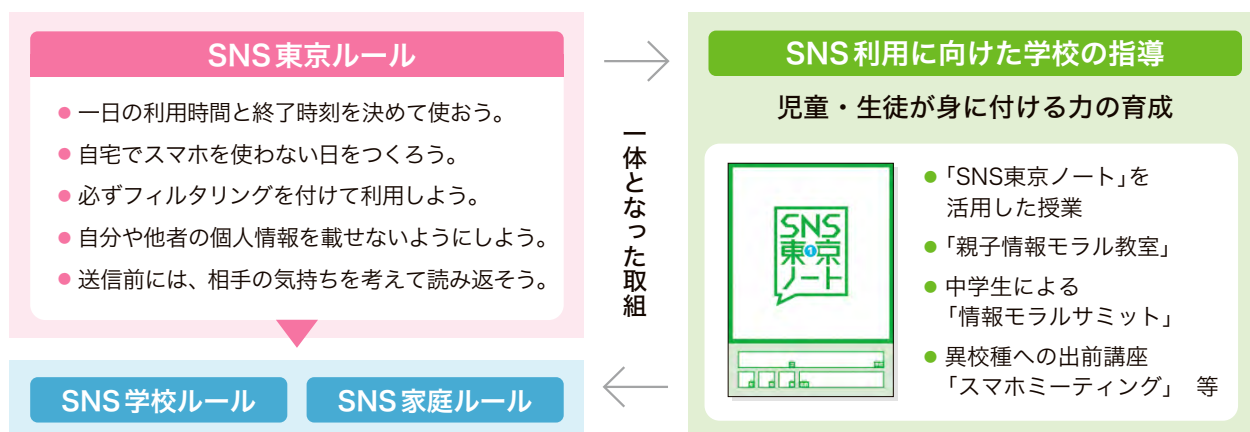
# SNSのルール作り・見直しを通じた主体的な情報モラル教育について



平成 29 年 3 月

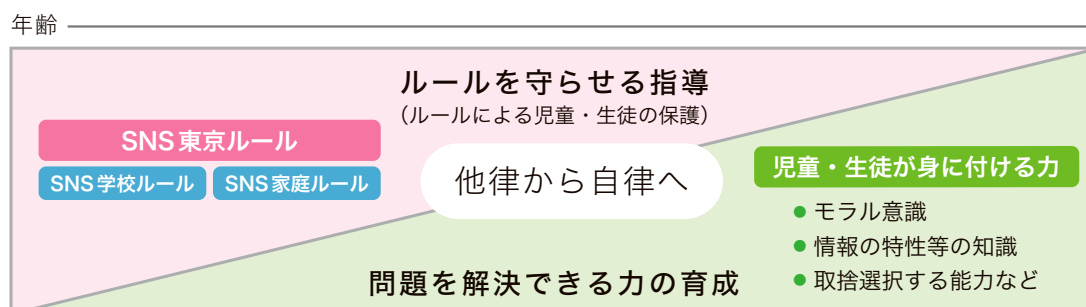
東京都教育委員会は、平成 27 年 11 月から、「SNS 東京ルール」の取組を始めています。学校では、話し合い等により定めた「SNS 学校ルール」や、各区市町村が定めたルール等について、日頃から児童・生徒に意識させることが大切です。SNS のルールを作ることで終わらず、継続して取り組むためのポイントを紹介します。

## 1 SNS 東京ルールの作成の趣旨について



「SNS 東京ルール」の五つのルールは、東京都が、子供たちに守ってほしい項目を定めたものですが、「一日の終了時刻とは何時なのか」「他者の個人情報とは何を指すのか」といった具体的な内容については、学校や家庭における話し合いを通じて確認し、「SNS 学校ルール」「SNS 家庭ルール」として定めることをお願いしています。

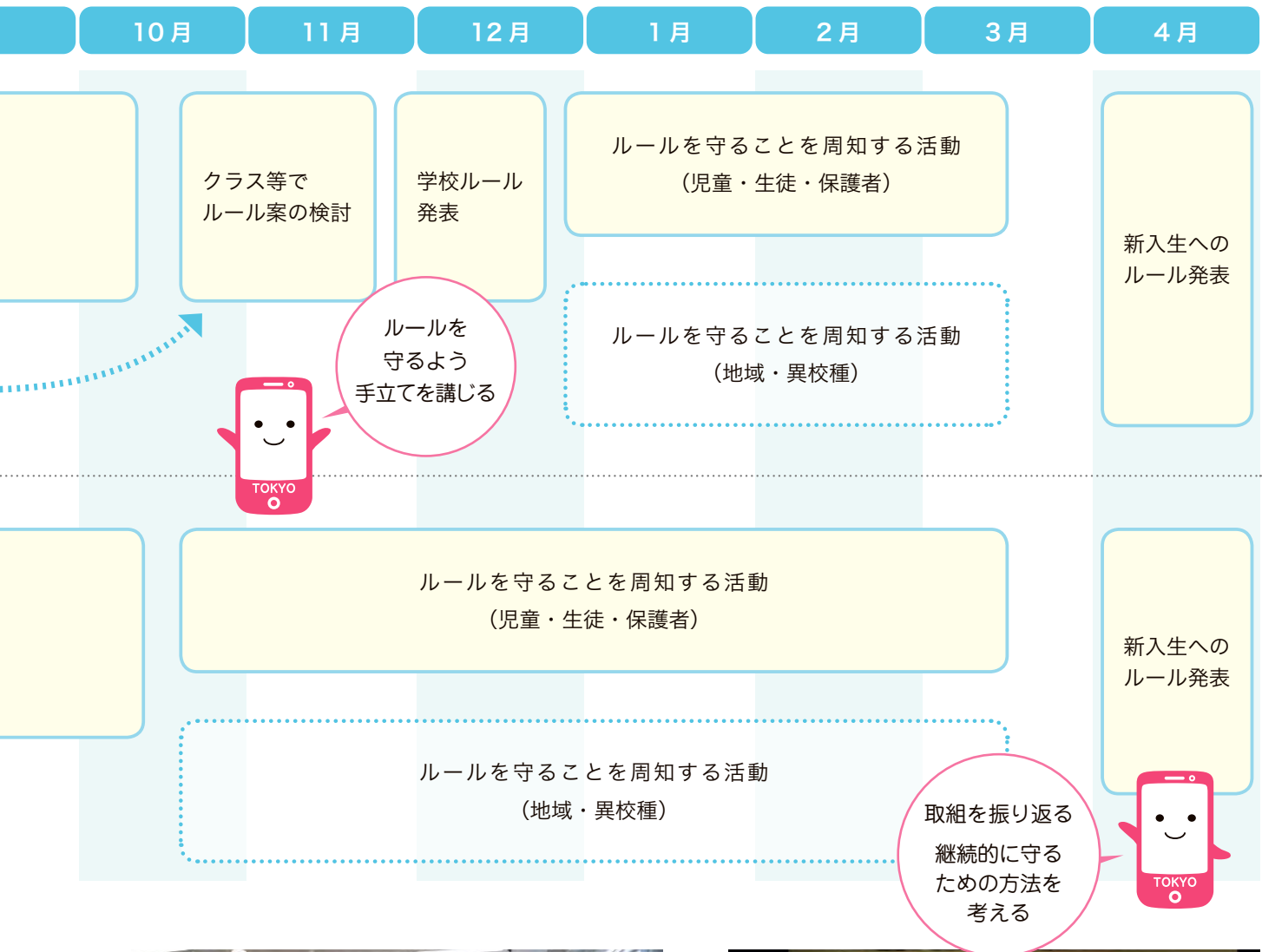
「SNS 東京ノート」を活用した授業など、学校での指導と、ルール作りやルールを守ることを、一体として取り組むことにより、児童・生徒が身に付けるべき力を育成していくことが大切です。



小学校低学年では、ルールを守る指導が中心ですが、発達に応じて、自ら判断し、行動できる力を身に付ける指導を行うようになります。このとき、アンケート等により、スマートフォン等、情報機器の所有の状況や、トラブルにあった状況を把握し、実態を基に指導内容を組み立てることが、より効果的です。



1. ルールそのものの見直し
2. ルールの重点項目化（「今年度は、特にこの項目を守る」等）
3. ルールの具体化（曖昧なルールの具体化、学年ごとに詳細な内容に落とし込む等）



生徒会中央委員会で、SNS学校ルールを検討（中学校）



全校集会で、生徒会がSNS学校ルールを発表（高等学校）

### 3 「ルール作り・ルール見直し」における留意点

SNSを利用する場面は、学校外です。学校で「ルール作り・ルール見直し」について話し合ったことを、家庭等、学校外での実践につなげることが大切です。

どのようなことに留意すればよいのでしょうか。

#### (1) 自分のこととして認識させる。

例

専門家を招き、陥りやすいトラブル事例を提示し、これを回避するための方法を考えさせる講演を行った。



自分のこととして捉えない可能性がある。  
(私には関係ないという気持ち)



改善のポイント

「自分のこと」として自覚させるよう工夫する。

→誰にでも起こり得る場面を設定し、教室で話し合う。  
→安易に結論を示さない。



SNS東京ノートの活用

#### (2) ルールの必要性を認識させる。

例

生徒会など、一部の生徒がSNS学校ルールを策定し、集会等で発表した。



ルール作りに関わらなかったため、ルールを守らなければならない理由が分からず、行動に結びつかない。



改善のポイント

ルールが必要な理由を考えさせる。

- ①アンケート等により、校内で起きているトラブルを取りまとめる。
- ②校内で起きているトラブルをなくすため、どのようなルールが必要かを考える場面を設定する。

#### (3) ルールのあいまいさをなくす。

例

「人の嫌がる書き込みをしない」といったルールを作ったが、守ることができていくか検証しづらい。



いわゆる「スローガンのルール」であるため、ルールを守る際の基準が分からない。



改善のポイント

ルールを見直し、解釈の差を生まないようにする。

※既存のルールを全て見直すより、重点的に守るルールを定め、見直しに取り組む。

静岡大学 塩田真吾准教授の資料を基に作成

情報モラル教育関係資料

「SNSのルール作り・見直しを通じた主体的な情報モラル教育について」

平成29年3月

編集・発行 東京都教育庁指導部指導企画課

東京都新宿区西新宿2-8-1 03-5320-6848



資料ページ

# スマートフォン用アプリ 「SNSルールリマインダー」の使い方



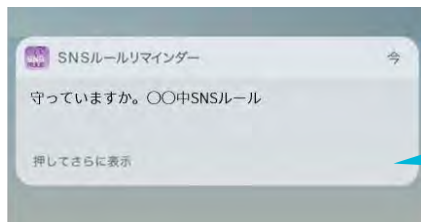
東京都教育委員会は、SNS家庭ルールを作ることの啓発や、SNS学校ルールの策定の取組を進めています。これらのルールについて、継続的な意識付けを図るため、定めたルールを登録し、定期的に画面上に通知するアプリ「SNSルールリマインダー」を作成・公開しました。この使い方を案内します。

## ルールを登録する機能について





## 通知する機能について



タップ

OSの機能により、  
通知されます。



タップ

ルールが  
表示されます。



## 「SNSルールリマインダー」ができること

- ルールを登録すると、ルールを忘れないよう、時々通知してくれます。

どのくらいの数のルールを登録できますか

1種類につき、20個までのルールを4種類まで登録できます。

- (例) ・家庭のルールを5個      ・学校のルールを6個
- ・生徒会サミットで決まったルールを5個      ・区市町村のルールを8個

どのくらいの頻度で通知しますか

公開していません。

ルールを文字で入力するのですか。

印刷された紙をスマートフォンのカメラ機能で撮影して登録することもできます。



## 「SNSルールリマインダー」ができないこと

- 「スマートフォンの利用は夜9時までとする。」というルールを入れたとしても、スマートフォンの電源を強制的に落とすといった、実際の利用を止めることなどはできません。

保護者として、子供の利用をルールどおり制限したい場合、どうすれば良いですか。

専用のアプリや、専用のペアレンタルコントロール機能を活用ください。詳細は、販売店へお聞きください。



## インストール方法について

- ウェブサイト「考えよう！いじめ・SNS@Tokyo」にあるリンク先から、インストールしてください。

「考えよう！いじめ・SNS@Tokyo」

<http://ijime.metro.tokyo.jp/>



# 情報モラルに関する指導の充実に資する〈児童生徒向けの動画教材、教員向けの指導手引き〉・〈保護者向けの動画教材・スライド資料〉等

文部科学省は、「ネット依存」や、ネット詐欺・不正請求などの「ネット被害」、SNSによるトラブルなど、情報化の進展に伴う新たな問題について、学校で指導する際に役立つ動画教材と、動画教材を活用するための手引書を公開しています。

- 「情報モラルに関する指導の充実に資する〈児童生徒向けの動画教材、教員向けの指導手引き〉・〈保護者向けの動画教材・スライド資料〉等」(文部科学省) [http://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/zyouhou/1368445.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/1368445.htm)



## ●保護者向けパンフレット



## ●保護者向け講義ガイドより講師用セリフ原稿





## ● 動画教材

テーマ	小学5年生～中学1年生	中学2年生～高校3年生
ネット依存	ネットゲームに夢中になると... 1	身近にひそむネット依存 2
ネット被害	そのページ、確認しなくて大丈夫? 3	ネット詐欺等に巻き込まれないようにするために 4
	軽い気持ちのID交換から... 5	写真や動画が流出する怖さを知ろう 6

SNS等のトラブル	ひとりよがりの使い方にならないように 7	情報の記録性・公開性の重大さ 8
	SNSへの書き込みの影響 9	軽はずみなSNSへの投稿 10
リレーセキュリティ	パスワードについて考えよう 11	大切な情報を守るために 12
	うまく伝わったかな? 13	コミュニケーションの取り方を見直そう 14
適切なコミュニケーション	相手や状況に応じて、コミュニケーション手段を適切に選択し、必要となる情報を必要とする相手について考える。	

## ● 静止画教材

### ● 情報化社会の新たな問題を考えるための教材～安全なインターネットの使い方を考える～ 教材静止画

教材静止画は、動画教材ごとの静止画データです。授業等でお使いください。

#### 教材静止画

- 教材1「ネットゲームに夢中になると...」(PDF:2251KB)
- 教材2「身近にひそむネット依存」(PDF:1724KB)
- 教材3「そのページ、確認しなくて大丈夫?」(PDF:1882KB)
- 教材4「ネット詐欺等に巻き込まれないようにするために」(PDF:2107KB)
- 教材5「軽い気持ちのID交換から...」(PDF:2733KB)
- 教材6「写真や動画が流出する怖さを知ろう」(PDF:2102KB)
- 教材7「ひとりよがりの使い方にならないように」(PDF:1773KB)
- 教材8「情報の記録性・公開性の重大さ」(PDF:2435KB)
- 教材9「SNSへの書き込みの影響」(PDF:2164KB)
- 教材10「軽はずみなSNSへの投稿」(PDF:2590KB)
- 教材11「パスワードについて考えよう」(PDF:2742KB)
- 教材12「大切な情報を守るために」(PDF:2395KB)
- 教材13「うまく伝わったかな?」(PDF:2348KB)
- 教材14「コミュニケーションの取り方を見直そう」(PDF:1563KB)

### ● 教材6の例



## ● 指導の手引き



## ● 指導の手引きよりモデル指導案



## ● 指導の手引きより板書計画



平成28年度情報教育フォーラム報告書  
平成28年度情報モラル推進校実践事例集  
主体的な情報モラル教育について

東京都教育委員会 印刷物登録番号  
平成28年度第247号

平成29年3月  
編集・発行  
東京都教育庁指導部指導企画課  
東京都新宿区西新宿2-8-1  
03-5320-6848

作成

教育庁指導部指導企画課長	冠木 健
教育庁指導部主任指導主事	伊藤 秀一
教育庁指導部指導企画課統括指導主事	丸茂 聡
教育庁指導部指導企画課指導主事	江川 徹

デザイン・印刷  
株式会社トライ





